

(3) 性について親子で考える

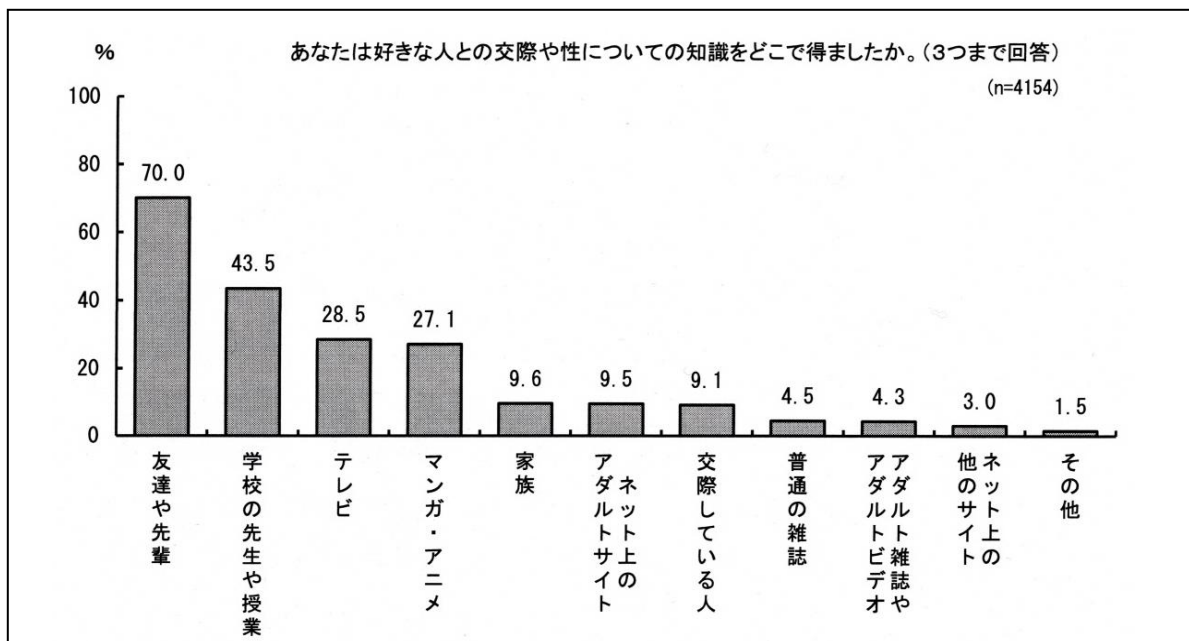
- 性に対する興味・関心が高まり、性的衝動や心配ごとをもつようになります。性について、家庭ではどんな話し合いをしたことがありますか。
- 多くの情報が氾濫していて、子供たちは戸惑っています。
- 援助交際など、中高生による売春行為が問題になっています。これは、性の問題であるとともにお金をめぐる意識の問題でもあります。

◇ 子供の生活を知る

思春期に入る時期には大きな差がありますが、多くの子供たちが性的なことや異性の身体に興味をもち始め、異性とつき合ってみたいなど異性を意識する感情や言動が現れてきます。中には、二人だけの交際を始める子供もいます。

そのような意識を助長するものとして、子供たちの周りには、性に関する情報が溢れています。風俗雑誌やアダルトビデオの問題だけでなく、テレビ番組やインターネット上のアダルトサイトなど家に居ながらにして様々な方法で興味・関心をかきたてる情報を入手できます。このような社会環境の中で、子供たちには主体的に様々な情報を取捨選択できる能力と正しい知識を身に付けさせる必要があります。

自分の感情をコントロールできずに、時には妊娠というような深刻な問題が発生することがあります。学校でも計画的に指導を行いますが、家庭においても、子供に正しい知識を教えること、そして、同時に異性に対する思いやりや相手を尊重する気持ちを培っていくことが大切です。



「中高生の性に係る行動や意識に関する調査研究報告書」
(警視庁生活安全部少年育成課 平成30年2月)

◇ 人生の先輩として

中学生に親が語れる性の会話は、ごく限られてしまいがちです。しかしながら、思春期を迎えた中学生に家庭に必要なことは、いろいろな機会に、男性観や女性観、そして適切な男女平等観を含め、性に関する社会のできごとなどを人生の先輩として話すことが大切です。

「性」を語ることは「生」を語ることに繋がります。

◇ 性を語る

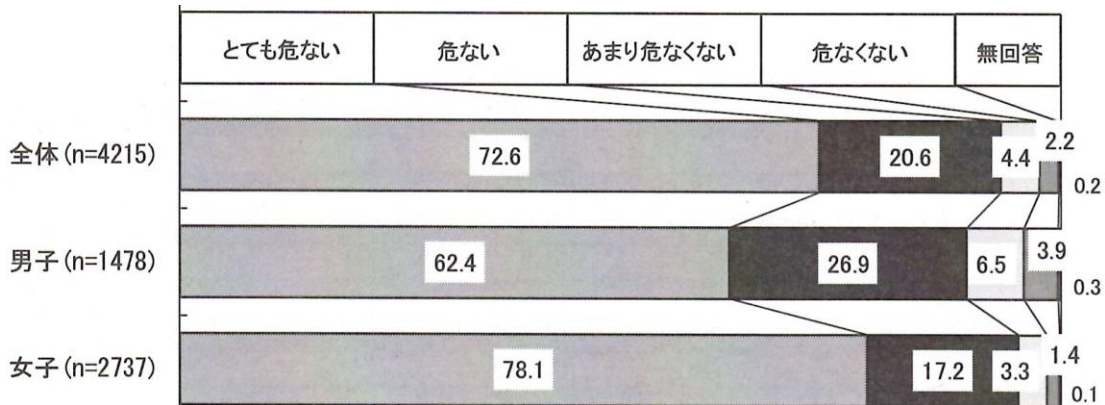
親の存在は、子供にとって最も身近な存在であり、まさしく「人生の先輩」です。「そんなことはいずれ分かることだ」ではなく、自分の経験を話し、その上で選択肢を提示してあげてください。

例えば「何でそんなことするのか」ではなく、「私はこう思う。また、このようにも考えることができる。あなたはどうか考えるのか。」と語り合ってみましょう。親自身が性については、すばらしいもの、大切なものととらえ、子供の発達や個性に合わせて語ってみてはいかがでしょうか。親ならではの子供の生育歴を踏まえた話ができるはずです。

◎ 危険な行動に関するリスク認知

Q20 あなたは次のようなことを、危ないと思いますか。

【ネットで知り合った人と性的な話をする】



「中高生のネット利用に係る危険性認知等に関する調査研究報告書」
(警視庁生活安全部少年育成課 平成31年2月)

★ こんな面から親子で考えてみませんか。

- ・ 性の問題と正しい知識
- ・ 愛、恋愛、異性への思いやり
- ・ 社会的現象と自分の生活
- ・ 男女平等や男女の区別
- ・ 親になることの意味
- ・ 生命の尊重